

## 第3回100人会議ふりかえりシートまとめ

### 【資料の説明】

- ・各メンバーから回収したふりかえりシートの質問「1.」「3.」「4.」を取りまとめました。
- ・質問「3.」については、各テーマに沿って意見をまとめました。
- ・常滑市は南北に細長いため、意見者が市内のどの辺りに住んでいるのかを把握するため、市を4つに区分しました。北(名古屋市より)から「青海」「鬼崎」「常滑」「南陵」の順になります。
- ・例えば、「新病院の収支目標を・・・今後は方法論に入りたい。(南陵60男)」という意見は、南陵地区在住、60代、男性、の意見です。

### 1. 病院見学ツアーに参加されて、どう思われましたか。(ツアー参加者のみ記入してください。)

- ・とてもよい設備があることが分かりました。安心して病院にかかれます。(常滑30女)
- ・市民病院の設備は他の医療機関と同じレベルにあることが分かりました。見学できてよかったです。ただ、このレベルが市民にあまり知られていないのが残念です。定期的に企画された方が良いと思います。(南陵30男)
- ・透析センターの充実が印象に残った。また、採血の結果が採血後30分で出るように努力してみえるとの事が印象的だった。(名大病院では60分、と言っている。)(青海30女)
- ・透析の機器が立派で驚きました。(鬼崎40女)
- ・透析、血液検査、リハビリ、手術室、放射線…どの部署も担当職員さんたちの努力が垣間見られました。新しい設備なども入っている事を初めて知りました。(鬼崎40女)
- ・短時間ではあったけれども、普段目にすることが出来ない経験が出来て良かったと思います。設備は充実していると思いますが、市民が知る機会がないのが残念です。(青海40男)
- ・健康な自分にとって、高度医療機器のありがた味はわからない。それぞれの稼働率を聞くにつけ、やはりできるだけ良いものがあった方が安心だ。(南陵50男)
- ・高額機器の中で新病院には持って行けないものがあるのは残念。利用率が意外と高く、

やはり必要なのだろうか…。(常滑50女)

・外観に反してすごい機材が揃っていました。それを使う医師がいないのは残念です。(南陵50女)

・建物は古いけど、設備は一流ということがわかった。多くの市民にそれを知ってほしいと思います。(南陵50女)

・私が思っていた以上に、手術室、MRI 等高度医療が充実しているなという感じでした。ただ、廊下等つぎはぎで、外だけを見ると高度医療が受けられるという気になれないなと思いました。やはり病院はきれいであってほしい。(常滑60女)

・良い機会でした。もっと広く市民の方に知ってもらえるような「一日見学会」などを開催したらどうですか？(鬼崎60男)

・高度な機械や6室ある手術室そしてリハビリ室など、今まで知らなかった施設や仕事をいっぱい発見しました。透析の備蓄が60人分2週間あることに感動。(鬼崎60男)

・実際に見たことのなかった設備、内容の説明をしてもらい、感動した。新病院へ持って行けないものが多いので残念。出来る限り使えるものは使用してほしいと思った。今不都合を感じていることを全てクリアした病院を!(青海60女)

・努力は見られたが、患者数が減少しているのに立派な機械がいるのか？赤字の原因になっていないか。(常滑60女)

・素晴らしい設備がありびっくりしました。もっと皆様の知る所だと良いと思いました。(常滑60女)

・高度の機械がたくさんあって、始めてみるものが多く、安心した(老後)。(南陵70女)

・ビックリと感動しました。(常滑70女)

・このようなツアーがあって、初めて病院内がわかりました。大変感動しました。(鬼崎70女)

・医療機器の整備率が良いと思いますが、稼働率を考慮してバランスを取る必要ありと思います。(常滑70男)

(以上)

### 3. グループ討議を終えて、今日のテーマに対するあなたのご意見を書いてください。

#### テーマ1 「新病院の健全経営化のために」

・経営健全化へは、患者数をどう増やしていくか、職員の人件費をどう抑えるかの2点が重要であると感じた。ただ、どちらの問題も、いろいろな要因があり、単に増やすとか減らすとかだけでは解決しないので、詳細な分析をして、問題点を絞り、個別に考えていく必要があると感じた。(常滑30男)

・やはり黒字(せめて赤字なし)を目指してほしい。そのためには、診療科も選ばなくてはいけないのでは? IT化→院内で検査結果などを患者が持って行って受け取り医者に届けなくても良いように。結果的にコストを減らせるのでは?(常滑50女)

・他の病院との格差表で良くわかった。診療単価の話をもう少し具体的に行っていくと良いと思う。(常滑60男)

・新病院の収支目標を聞くことができた。(△7. 2億円→△5億円。さらに減価償却5億円増となる。) 今後は方法論に入りたい。(南陵60男)

・毎回素晴らしい意見が聴け、いい討論ができています。今の国の政治家にこの会議を聞かせてやりたいです。診療所が多くなる現状で、どうやって患者数を増やすのか、どうしたらよいのか……ということをも市民みんなで考える必要があるのでは…。収益を上げるには…削るか増やすか…私は増やす方を考えたい。コーディネーターの山本さんの司会進行は、いつもいいなと思います。(常滑60女)

・赤字の原因が少し見えた気がする。綾部との比較で、常滑がどんな特長のある病院を作るべきか検証して、根本的に考えるべき。最初から赤字病院を建てることを前提にはならない。他の病院と差別化して、健全な病院を建てるには、科、病床数をゼロベースで考え直すべきと思う。横並びの赤字病院を作ってはならない。(常滑60女)

・新病院ができれば、必ず患者も増える、医師も増えると思われるので心配はしていない。完成後は院長以下職員全員で努力してもらいたい。(常滑70男)

・病床利用率を上げる方策を考えるべきである。(鬼崎70男)

・患者数確保の知恵を出し、実行することが全てに通じると考えます。理念の明確化で日常的に取り組み、患者の真の利益、ニーズに応え、患者数確保を図るべし。(青海70男)

## テーマ2 「新病院と救急医療」

・現在の状況を詳しく知ることができて良かったです。救急受け入れのできる医療機関が身近にある安心を改めて感じるとともに、コンビニ受診を防ぐための啓蒙も大切だと思います。他の病院や市内の開業さんとの連携も大切なのだなと感じました。引き続きみんなまで知恵を絞っていけば、きっといいアイデアが出てくると思います。(鬼崎40女)

・救急医療を完結するには、スタッフ、施設等で困難となる。市民が「まず医療を受けられる」という安心感が重要。その後の医療は三次医療機関との連携が必要。(青海50男)

・「救急医療の最後の砦」は、みんなの一致した希望でした。救急車の搬送先が確保されていることは、市民にとって大きな安心です。スーパー医療は望みませんが、とりあえずの手当てをしてくれる病院は絶対に必要です。航空機事故や災害など多数の患者が殺到する場合の開業医との連携も考えていくべきだと思いました(南陵50女)

・今の市民病院で行われている救急医療はとても充実していると実感しています。それを続けていってほしいという思いは市民としてあります。何かの時に(予知不能な時に)頼れる病院は市民にとって安心材料です。安心があるからこそ、日々平穏に過ごしていけると思います。3.11があって、病院の大切さをより強く考えさせられました。今の病院では、場所や強度面で災害時に耐えられないと考えられます。新市民病院で、今の救急医療を実施していけたらいいと思います。プラス何が必要か、細かく考えていく必要も、もちろんこれからの課題ではあるでしょう。(青海50女)

・やはり常滑市には市民病院は絶対必要。「赤字だから」「市民一人〇万円の支出になるから廃止だ!!」の意見もあるが、市民の「命」と「安心」を守るためにも必要です。大きな災害があった時は、他市には助けを求められません。「命の安心」のため、新病院の救急体制の確立を強く望みます。(鬼崎60男)

### テーマ3 「常滑市民病院と半田市立半田病院」

・半田病院の現状、常滑市民病院の現状をこと細かく説明していただき、いろいろなことがわかりました。これから半田・常滑の連携と半田・常滑を一つの大きな病院として考えていきたいと思いました。また、医院との連携の役割分担を明確にしていきながら、連携に参加させていけたらと思いました。(鬼崎50女)

・消防士の生の話が聞けてよかった。(救急車の利用のしかたを市民として考えたい。モラルの向上。)二次救急と三次救急、急性期と亜急性期の役割分担をはっきりさせることにより、半田病院と常滑市民病院の連携を進めていくことが大切だと思った。(常滑50女)

・常滑市民病院と半田病院をうまく使い分ける方法を考えると、医師会の協力なしでは成り立たないと思います。連携を考えて、分割できるものはやって行った方がうまくいくのではないのでしょうか。常滑市民病院と半田病院がタッグを組んで役割分担をすることで、2つの病院ではあるが、安心安全に診療を受けられると思います。職員の皆さん(医師を含めて)も市民目線を常に気にしてガンバッテください。(鬼崎50男)

・常滑と半田の特徴・特色がよくわかった。救命士さんから、当事者ならではの貴重な現場の体験談をうかがいました。100人会議全員に聞いていただきたい良い話でした。赤ひげ先生、リハビリ、産婦人科への様々な意見、公立病院と開業医との関係など、幅広く話し合えました。(鬼崎60男)

・半田病院と常滑市民病院で1つの病院として、医師や看護師さんの充実を図ってもらいたい。透析がとても優れていると聞き、喜ばしいと思います。(南陵70女)

・半田と常滑の連携がいかに大切かと思う。半田、常滑両病院を1つの病院として考えることが大事だと思いました。(鬼崎70女)

・この100人会議に出席できたことで、いろいろの知らないことを知りました。半田病院の件など。救急出動に関する消防の方の話(「サイレンを鳴らさずに来てほしい」という市民の要望が多く、そのために救急車が衝突事故を起こしたことがある。救急通報があつて行ってみると、入院グッズをまとめて玄関先で待っている人がいる。しかも同じ人が何度も。患者さんに行き先の病院を指定されるが、指定先の病院はベッドに空きがなく断られ、板ばさみになって困る、などなど。)にはびっくりした。(常滑70女)

#### テーマ4 「地域連携と広報活動」

・常滑市は診療所との連携ができていないことを初めて知りました。制度としてあるのに残念です。今後、新病院を立ち上げた時に是非とも連携を確立する方向にさせていただきたいです。また、広報活動は地道に診療所と連携して行っていくように仕向けが必要と感じました。さらに病院主催のイベントも有効と思います。(南陵30男)

・病院を使う多くの人の意見が聞けて良かった。年配の意見が今後重要だと思う。討議のテーマについては、市民の気持ちを十分に考慮すれば何が必要かわかると思う。必要でできていない部分を明確にしてやってもらいたい。(鬼崎30男)

・市民病院は市の医療機関の一部なので、常滑市全体としての医療体制、医療相談に対応できる体制を築くことが大切だと思います。市民病院を中心として、医療・福祉・介護のフェスティバルを実施するという提案があったが、病院に親しんでもらう機会になって良いと思う。広報の「病院だより」を「医療だより」にして、開業医の先生や医療相談の窓口などを一括して紹介するようにした方が良いと思う。(青海30女)

・診療所を市民が安心して積極的に利用できるように、また、診療所についての情報、病診連携についての情報をPRしていくために、印刷物、CATV、医療福祉イベント、ボランティアの活用を考えることができた。市民として関わっていく機会がふえると共に、個人診療所が市民病院と同様に身近で安心な所になって行くのを望みます。(鬼崎30女)

・地域連携室の機能は、一日も早く充実強化してほしい。地域連携協議会(市民病院と地域のかかりつけ医、医師会間の連携の場)をすぐにでも作ってほしい。医療・福祉フェスティバル(イベント)でより多くの人に医療・福祉資源をPRする機会をつくる。(青海30女)

・MSW(医療ソーシャルワーカー)に対する役割期待の大きさを改めて痛感した。しかし、残念ながらMSWは万能ではないので、すべての期待には応じられないであろう。MSWとして何ができるのか、できないのか、MSW側にも吟味してもらいたいものである。病院に注文をつけるだけでなく、病院を利用する市民の側も意識改革をしていかないといけないと思う。(青海40男)

・広報について良い議論ができた。しかし、広報の難しさを実感した。(青海60男)

・診療報酬上の病診連携の点数評価はできている。あとはそれを進めるために、常滑市民病院と医師会(診療所)で病診連携(地域連携)協議会を組織して、意識的にかかりつけ医と病院の機能分担を明確にしていくことが必要だろう。協議会を組織して、病院医師と

診療所の医師が知り合い、交流するだけでも、病診連携の大きな効果があるだろう。(コーディネーター)

## テーマ5 「市民が支える常滑市民病院」

・市民が運営に参加できるようにしてほしい。100人会議の形を変えて、市民と病院が理解しあえる場を残してほしい。(常滑30女)

・市民病院を利用するルール・手引きのようなものが利用する側に行き渡り、利用しやすい、安心して利用できる仕組み作りが必要と感じました。ルールができれば、そこに対して市民が必要と思うボランティア活動の情報発信と市民参加の環境ができればと思います。100人会議のようなものを新病院開設後も継続してほしい。(青海40男)

・ボランティアをしたいと思えるような気運が市民に必要で、その下支えを行政が作るといいと思った。→100人会議がこれに当たる? 「広報」をする。例えば、「こういう病状の時には開業医がいいか、市民病院がいいか」を明記したものを作成する。(南陵50女)

・「市民が支える」の意味が少しわかってきたように思う。(青海50男)

・なかなか充実した議論だった。「市民」という存在を限定的にとらえずに、まず市民側のニーズをとらえて、院内の花屋さん、近くの保育園…に何ができるかを考える“とぼ口”ぐらいはできたと思う。(南陵50男)

・市民が受診しやすい病院にするには、日中にかかることがしにくい若い人のために夕方診療をしていただくと、幅広い年齢層が受診できると思います。午前中だけでは、老人しか受診しないと思います。市民とのふれあいの機会を設け、病院関係者に“市民に近い存在”になってほしいと思います。(常滑50女)

・やはり市民(普段市民病院に世話になっていない人)は病院のことを知らない。→病気になった時の診療の受け方、日ごろの診療所と病院の使い分け、などなど。→市民病院からの発信。(鬼崎70男)

・市民が継続して支えていくためには、興味を持って関わっていくことが大切である。市民参加をしていく。また、病院で働く職員も、もっと市民に近づくことが大切。( )

## テーマ6 「新病院の診療機能」

・産科、婦人科、整形外科に常勤医がいないのは、総合病院としては問題だと思います。新しく提案したペインクリニック、感染症科は、麻酔医の問題や呼吸器の医師の問題もあり難しいと思いますが、ぜひ検討していただきたいと思います。(鬼崎40女)

・必要な医療はどれもこれもあると良いと思いますが、話し合っている間に、難しいと思いました。でも、産科、整形外科はほしいです。(常滑60女)

・あらゆる診療科をそろえるのは無理ですので、今までの診療科とどうしても入れてほしい科をつくり、その他については週の何曜日に〇〇科の先生が診てくれるとかの対応でいいと思う。一次は開業医に診てもらい、二次は市民病院、三次は大学病院とか専門の医療機関で診てもらおうように。(南陵60男)

・終末期医療がほしいと思ってこのグループに参加した。病院の方でも考えられているとのこと。高齢化率が高い常滑市ではぜひ実現してほしい。1次医療、2次医療のどこを目指すのか、市民の合意を得ていく努力が必要と思う。1次医療を目指している方も多いことが分かった。(南陵60女)

## テーマ7 「市民病院とがん医療」

・院長先生、尾之内看護師さんから、がんについていろいろな話を聞くことができ、とても勉強になりました。がんの終末期の医療も、とてもあたたかい気持ちのケアをして下さることがわかり、とても安心しました。そうしたことを常滑市民に広めていくとよいと思います。放射線治療の設備費がとても高いことはわかりますが、ぜひいれていただきたいと思います。(南陵40女)

・ガンを早期に見つけるには、健康診断が必要と知りました。新しい市民病院では、有料の検診をしてほしい、したらどうか？(常滑50男)

・とても具体的なお話がうかがえてよかったです。先生方とスタッフの方たちのご苦勞が伝わってまいりました。新病院では十分先生方のご希望がかなえられるようにしていただきたいです。(南陵50女)

・いろいろと話し合えてよかったです。( )



## テーマ8 「女性が望む市民病院とは？」

・産婦人科に対する興味、関心が同じ意見の方との話し合いで、とても勉強になりました。同じ希望を持っていたので…。新病院の設備に対して望むことが同じで（きれいなトイレ、広々とした空間、病室や診察室のプライバシーへの配慮）、是非、新病院建設に役立ててほしいと感じました。院内、院外保育も前向きに検討していただきたいです。（常滑20女）

・女性の立場で様々な意見が出された。今回の話し合いの中で、医療設備についての意見が多かったが、患者側、働く側からも、託児については大きな課題ではないかと感じた。また、女性という立場から、プライバシーや恥ずかしいという感性（例：産婦人科への女性職員の対応）への配慮は必要だと思います。（40女）

・現場で働く看護師の方が二人みえたので、通常業務以外にもいろいろな取り組みをしている事を知ることができてよかった。女性の視点からの話だったので、「託児所」や「トイレの充実」などの話が出た。やはり同じ思いを持っている方がみえるのだと思いました。（常滑40女）

・女性だからわかる。女性しかわからない事が多いので、このグループを選びました。参加者はやはり女性ばかりで、忌憚のない意見を言い合いました。患者さんもスタッフも女性が多いとのこと。女性の意見を多く取り入れてほしいと思った。女性医師の確保、子育て中でも安心して働ける環境作りが望まれる。（常滑50女）

・スタッフが働きやすい環境を作ってほしい。新しい病院に望むことは、①トイレを広く、子供（幼児）と一緒に入れるようなトイレを望みます。②総合病院の利点を生かして作ってほしい。③女性医師の必要性を考えてほしい（婦人科、小児科、皮膚科など）。（60女）

・女性としてソフト面に対する意見が多数出た。「市民に愛される病院」イコール「女性の視点」が共通すると思うので、建設にはぜひ取り入れてほしい。（青海60女）

・自分の考えに全くない意見を聞くことができすぎてよかった。現在の自分には必要ないが、託児所の設置に関してはすごく興味があるものだった。子供を育てている方の意見を聞いて、自分が子供を産んでからも働きたいという事を考えると、託児所は絶対にほしい。「誰もが利用するお手洗いを清潔で広いスペース、プライバシーに配慮した作りを」と思っていたのですが、それに加えて「子供と一緒に入ることのできるお手洗い」はすごく大

切なものだと感じました。また、明るい施設であること、医師との会話などか聞こえないようなプライバシーに配慮した施設の作りもして行ってほしい。女性医師に関しては、いろいろな意見があったが、個人的には産科、婦人科にはほしいと思った。スタッフの対応については、いい意見ばかりであったため、今後も不快な思いをさせない対応を病院全体で気をつけていく必要がある。(病院スタッフ20女)

・患者側、職員側も託児所を望んでいる。ほんの少しの配慮が女性に選ばれる病院には必要。“トイレは最重要!!”清潔はもちろん、ストーマへの配慮、子供も一緒に入ることができると受診時に困らずにすむとの声あり。「婦人科の女性医師がほしい」という望みは強いが、どこでラインを引くことになるのか、市民の理解が必要と思う。接遇面で「昔は怖かった、キツかった。最近の看護師はやさしく親切」との声があり嬉しかった。とりあえず今はソフト面の充実を図っていききたい。頑張ります。(病院スタッフ40女)

## テーマ9 「選定テーマ以外について」

・身体障害、精神障害、発達障害に対する医療機関の経験不足は根強い。もう少し理解と研究が必要と思う。スタッフ、医師不足は、“理解”の輪を広げ、ケアする姿勢を大切にす  
る心の成長に期待するしかないだろう。新病院では“理解”と“目線”を大切にした障害  
医療の取り組みを望む。(常滑40男)

・特にテーマを決めずに討議するということがだったので、さまざまな方面の話が出ましたが、やはり保健機関や福祉機関との連携が大切、ポイントだということを再認識した  
思いです。(南陵40女)

・病院ではあるけれど、地域に密着した魅力ある病院。病院から発信する情報提供。商店、  
コンビニ、本屋、レストランなどと合体したもの。待ち時間を簡略化する方法。(鬼崎50  
女)

・市民病院の在り方について話し合いができてよかった。市民病院の必要性を考えること  
ができた。訪問看護が必要。障害者本人の意見を今後考えてほしい。(青海50女)

(以上)

4. 次回以降の100人会議の進め方について、ご意見があれば書いてください。

- ・今回のグループ討議はよかったと思います。発言しやすいと思いました。(南陵30男)
- ・具体的な議題がいい。(鬼崎30男)
- ・今回のように自分で興味あるテーマを選べる形式は良いと思う。(青海30女)
- ・別のグループの内容も知りたいです。(常滑30女)
- ・今回は自分でテーマを選択でき、話がスムーズに進んで、いろいろな年代の方の「市民病院への思い」の話が聞けたので良かったです。(常滑40女)
- ・今回のようにテーマを選んでグループを決めた会議はよかったと思います。ただ、グループごとに終わりの時間がまちまちで、無駄な待ち時間があったので、改善をお願いします。(鬼崎40女)
- ・基本構想策定委員会からのフィードバックを文書でまとめて報告してほしい。(常滑40男)
- ・他との比較でなく、常滑の地域に合った議論を希望します。(青海40男)
- ・テーマ別の話し合いはとても良かったです。(南陵50女)
- ・いつものメンバーではなくて、新しい人たちの意見が聞けて良かった。(常滑50女)
- ・小グループで話すことが必要。(青海50女)
- ・もう少し意見が言える時間がほしい(常滑50女)
- ・テーマ別の議論をそのまま深めるべき。少し脱線しながらなので、コーディネーターに注意を促したい。なまじっか医療に関する知識があるので、自分の意見を開陳したがる傾向が(一般に)ある。つまり、病院(というより医師)サイドにつきすぎる。でもうちの班はちゃんと学習しているようで、最後はうまくまとめた。(南陵50男)
- ・経営健全化のテーマについて、もっと掘り下げていきたい。方法論については、TMM(全

体的病院保全) 活動が有効と思われる。(南陵60男)

・意見が言えない、あるいは自宅で考えたこと等、始まる前に書いて出せるしくみがあったとしてもいいのでは…。(常滑60女)

・今回の「テーマ別」は有効だった。(常滑60女)

・資料説明だけで1時間以上費やしたので、討議時間がほとんどなかった(討議開始15:15～)。(常滑60男)

・GOODです。(鬼崎60男)

・ハード面、ソフト面に集約して話し合いを持ってほしい。(青海60女)

・良き話を聞きたいので次回も出席するのみ。(常滑70女)

(以上)